

## 2022.9月のブルーベリー農園その3

17日からの3連休のうち東広島市豊栄町のブルーベリー農園に安芸区の自宅から農作業に行けたのは18日だけだった。春から一度も草刈りをしなかった農園の管理するため池の堰堤、のり面の草刈りを

行う。背丈ほどのセイタカアワダチソウ、3mくらいに伸びた竹というか笹などがを刈る。ブルーベリーの実はほとんど摘み取られたが、部分的に実が残っている木があるのでテーブルや椅子、テントタープなどを片づける合間にブルーベリーの実をつんだ。誰も来ないのですっかり静かになった。9月19日(日)は台風が広島県を通ったので農園行きは見送り、21日に農園の様子を見に行ったら被害はなかった。



9月18日(日)

17日の土曜日は用事があり農園での作業は休み。里山の入り口にはヒガンバナが満開。



里山の西側でのブルーベリーの摘み取り。



昼ごはん時に、枝ごと切った実のついたブルーベリーも持ち帰ってよく熟れた実だけをもぐ。昼食後、このテーブルも椅子も解体して倉庫に保管した。



午後から農園が管理しているため池の草刈りを行う。堰堤も法面も伸びに伸びたススキ、セイタカアワダチソウ、3mもある笹などがびっしり。



ススキは赤い色の穂先が見える。白い穂になるのはまだ先。



写真左が池。堰堤、のり面を2人で刈る。





さっぱりした堰堤。池の中にはスイレン？の葉がたくさん浮いている。夏に花が咲いたのかどうか見に来ていないのでわからない。



ブルーベリーの植えてある畑の中で。

① カタバミ



② ブルーベリー畑の地面すれすれに咲くヨメナ



③ 赤とんぼ



農園の花壇のカクトラノオ。穂の下からだんだんと咲きあがり、この季節、とうとう一番上まで上り詰めて咲いた。残りは蕾一つだけ。

2022年9月23日  
社会福祉法人安芸の郷  
理事長 遊川和良

《2022年9月23日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

